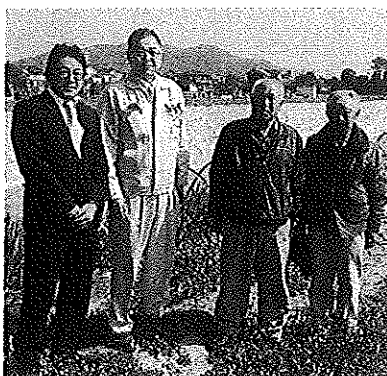


「今年も遊休農地7筆を借り受けて規模拡大する予定です」と話す(株)吉田組の富岡さん(左)。右から2人目が濱田さん



## 農地を5エリアに貸し手訪ねて調整

兵庫・姫路市農業委員 濱田能秀さん

【兵庫】 姫路市農業委に調整した。

員で同市網干区宮内地区の農会長を務める濱田能秀さん(71)は、農地中間管理事業を活用して、集落内農地を大規模経営体や新規参入企業など大きく5ブロックのエリアに分けて営農できるように調整した。同地区は農地面積約290ヘクタール、農家戸数は72戸。昨年、同事業で大規模経営体2戸、地区外の担い手、新規参入企業の4経営体に16.7ヘクタールを集積し、その他のエリアは地区内の農家12戸が耕作する。

濱田さんは担い手が営農しやすいように借地交換が可能かどうかや、新たな農地の貸し手には期日が来れば必ず戻ってくることを一軒一軒訪ねて説明して回り、調整したという。

新規参入してネギを栽培する建設業(株)吉田組の富岡義規さん(45)は「中間管理事業の借り手募集に応募し、宮内地区を紹介してもらった。農地を借りられたのは濱田さんをはじめ地域の方の協力のおかげ。今後は雇用を生み出し、地域に貢献したい」と話す。

濱田さんは「今年も2戸が離農する。毎年見直しを図り、当地区の中心経営体に集積していきたい」と話している。

(間嶋晋也)